

■履修モデル: 都市・地域・まちづくりに関する知識を身につけ社会で仕事がしたい。
(一般企業、公務員、NPO、地域・都市・まちづくり系学部・学科への編入学)

- ・建築系科目を中心にしながら、環境系科目や福祉・心理関連分野等を広く履修する。
- ・建築系科目については、構造力学・設備・材料系関連の講義科目を履修することは必ずしも必要としない。
- ・地域・都市・まちづくり系学部・学科への編入学をめざす場合は、更なる語学の履修や志望学科の入試科目に向けた対策を早めに行うことが望ましい。

【履修例】

区分		1年次	2年次
		科目名	科目名
基礎科目	語学基礎	・語学Ⅰ (英語、ドイツ語、フランス語、中国語)	
	専修基礎	・生活科学概論	
共通科目		・情報と社会 ・環境論 ・情報処理実習Ⅰ	・心理学 ・地理学 ・地域史 など
専修科目	生活基礎		・住生活論 ・生活経営 ・地域づくり実践(2年次) など
	福祉・心理関連分野 (専修第一分野)		・障害者福祉論 ・公的扶助論 ・地域福祉論Ⅰ ・地域福祉論Ⅱ ・家族関係学 など
	居住環境関連分野 (専修第二分野)	建築系科目 ・建築製図基礎 ・住生活設計Ⅰ ・居住計画論 ・居住福祉論 ・建築法規 ・建築計画 ・住環境計画 ・地域環境学 など	・まちづくり企画 ・まちづくり設計 ・都市計画論 など
		環境系科目 ・環境政策論 ・環境倫理学 ・環境共生論	・生態系の科学 ・環境とエネルギー ・地域政策論Ⅱ など
		その他 ・社会学 ・社会調査論 ・居住環境基礎(1年次)	・地域政策論Ⅰ ・行政学 など
	演習		・居住環境特別演習

(注意)

この履修モデルはあくまで参考例として示すものであり、この通りに履修する必要はない。
卒業要件や資格取得要件を念頭に、時間割とシラバスを確認の上、履修科目を選択すること。
(特に本校の特徴である建築士受験資格要件には注意したい。)
1年間に履修できる単位数は50単位までであるため、計画的に履修すること。
履修申告書を提出する前に、クラス担任(教員)のチェックを受けること。